

- 1、財政の健全化に向けた取り組みと職員の意識改革
- 2、子育て、子どもたちの教育の充実
- 3、地場産業振興による雇用の受け皿づくり
- 4、婚活支援事業の推進
- 5、アルサスを核とした賑わい創出事業
- 6、長寿、健康づくり対策事業の充実

2期目におきましては、今日まで取り組んできた政策を検証しながら継続することを基本とし、着実に進めてまいり所存であります。

また、私の最重要施策であります「日本で最も美しい村づくり」は、多くの村民の皆様から、2030年までにこのようにありたい佐井村、佐井村をこうしたいというビジョンに基づき、その実現に向けてのアクションプランをご提言いただきました。平成29年に「村づくりビジョン」並びに「アクションプラン」を策定し、「〜日本で最も小さくかわいい漁村を目指して〜」という2030年を見据えた目指すべき姿を決定しました。『2030年には、「海のごみ問題、空き家問題など抱えていた問題に正面から取り組み、果敢な挑戦をする村として内外に知られるようになった。』、「年間の視察依頼は100件を下らない。』という村になるよう、できるものから取り組んでまいりました。その第1段として昨年は、「日本で最も小さくかわいい漁村づくり推進プロジェクトチーム」が発足し、具体的に取り組み始めたところであります。村民が一人となり美しい佐井村づくりに向け行動することは、誰もが村づくりに参画する、参画できるといふ意識、いわば住民自治の形成を図るために非常に重要なことでもあります。地域の将来像が一つひとつ実現に向かっていくことを確認するためにも、今後も検証しながら住民・議会・行政が一体となって取り組んでまいりたいと思っております。村民皆様の御理解、御協力を宜しくお願いいたします。

さらに、昨年11月1日には、日本郵便株式会社と、郵便局の見守りサービスを「ふるさと納税」の返礼品とすることに関する協定を締結し、村として東北初の取り組みが開始されております。

地方創生、佐井村創生は、一步一步進展していると思っております。今後とも、積極果敢に取り組むべきであり、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げますとともに、皆様にとっても、実り多い素晴らしい年であるよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。